

一人暮らし高齢者は要介護でも住みなれた我が家を離れない

介護保険の要介護認定になっても一人暮らしを続ける高齢者は、諏訪広域に在宅要介護認定者の回答者総数 3,304 人のうち 519 人と 16% を占めており、想像以上に多くの方が住みなれた我が家で暮らし続けています。介護保険や行政による福祉サービス更には近隣に支えられ、安心して心豊かに暮らせるような施策が求められます。

軽度の要支援1や要支援2の方が57.2%と半数を越しています。認知症がすみ立ち上がりが困難になる要介護1でも22.5%と比率が高く、このくらいまでは介護保険の居宅サービスなどを使って暮らし続けていますが、要支援に較べると比率が下がりますから住み替える方も多くなります。

要介護2になると10%にぐんと減りますから、一人暮らしが困難になって住みなれた我が家での暮らしが出来なくなり、家族との同居や介護施設・共同住宅の入所へと移行していることが分かります。

